

科目名	理学療法総合演習 I (医療倫理)			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間 (1単位)	配当学年・時期	理学療法士科1年	後期	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
①医療および理学療法を取り巻く倫理について学ぶ。また、倫理原則を知り、事例検討による倫理原則の遵守を学ぶ。 ②対象者中心のの視点を持つことにより、理学療法士としての使命と責務を学ぶ。								
〔授業全体の内容の概要〕								
医療・生命・臨床倫理の原則を事例検討を行いながら、学ぶ。								
〔講師の実務経験〕								
豊中平成病院、西宮回生病院にて理学療法士として7年間勤務								
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕								
①医療および理学療法の倫理に関する規範・原則を説明できる。 ②対象者中心視点をインフォームドコンセントの意義と必要性という観点で説明できる。 ③理学療法士の使命と責務を医療倫理の観点で説明できる。								
回数	講義内容							
1	理学療法士および作業療法士法について							
2	医療法ならびに関連職種の資格法について							
3	個人情報保護法、コンプライアンスについて							
4	社会と理学療法① 健康の概念と健康寿命							
5	社会と理学療法② 健康と社会・環境(人的環境、ライフスタイル)							
6	社会と理学療法③ 自然災害と生活ならびに健康との関連							
7	予防の概念(第一次予防、第二次予防、第三次予防)							
8	理学療法(定義、理学療法とリハビリテーションの違い、アイデンティティ)							
9	理学療法の対象と方法							
10	医療および理学療法を取り巻く倫理的課題について							
11	生命・臨床倫理について							
12	対象者中心視点(インフォームドコンセント、セカンドオピニオン)について							
13	理学療法士の使命と責務について							
14	理学療法士の活動分野と求められるもの①							
15	理学療法士の活動分野と求められるもの②							
【 準備学習・時間外学習 】								
【 使用テキスト 】								
書籍名			著者名			出版社		
授業時に必要なプリント資料を配布する。								
【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】								
定期考査にて評価する。								